

CTCAE v5.0

	Grade 1	Grade 2	Grade 3	Grade 4	Grade 5
好中球減少	1,500~LLN/mm ³	1000~1,500/mm ³	500~1000/mm ³	500/mm ³ 未満	-
血小板減少	75,000~158,000/mm ³	50,000~75,000/mm ³	25,000~50,000/mm ³	25,000/mm ³ 未満	-
貧血	Hb: 10.0~13.7 g/dL(男) 10.0~11.6 g/dL(女)	Hb: 8.0~10.0 g/dL	Hb: 8.0 g/dL未満 ; 輸血を要する	生命を脅かす ; 緊急処置を要する	死亡
悪心	摂食習慣に影響のない食欲低下	顕著な体重減少、脱水又は栄養失調を伴わない経口摂取量の減少	カロリーや水分の経口摂取が不十分 ; 経管栄養/TPN/入院を要する	-	-
食欲不振	摂食習慣の変化を伴わない食欲低下	顕著な体重減少や栄養失調を伴わない摂食量の変化 ; 経口摂取量の減少	顕著な体重減少または栄養失調を伴う(例: カロリーや水分の経口摂取が不十分) ; 静脈内輸液/経管栄養/TPNを要する	生命を脅かす ; 緊急処置を要する	死亡
便秘	不定期又は間欠的な症状; 便軟化薬/食事の工夫/浣腸を不定期に使用	緩下薬又は浣腸の定期的使用を要する持続的症状; 身の回り以外の日常生活動作の制限	排便を要する頑固な便秘; 身の回りの日常生活動作の制限	生命を脅かす ; 緊急処置を要する	死亡
下痢	ベースラインと比べて<4回/日の排便回数増加 ; ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量が軽度増加	ベースラインと比べて4-6回/日の排便回数増加 ; ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量の中等度増加; 身の回り以外の日常生活動作の制限	ベースラインと比べて7回以上/日の排便回数増加 ; 入院を要する ; ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量の高度増加 ; 身の回りの日常生活動作の制限	生命を脅かす ; 緊急処置を要する	死亡
口内炎 (口腔粘膜炎)	症状がない、又は軽度の症状; 治療を要さない	経口摂取に支障がない中等度の疼痛又は潰瘍; 食事の変更を要する	高度の疼痛; 経口摂取に支障がある	生命を脅かす ; 緊急処置を要する	死亡
倦怠感	だるさがある、または元気がない	身の回り以外の日常生活動作を制限するだるさがある、または元気がない状態	身の回りの日常生活動作を制限するだるさがある、または元気がない状態	-	-
末梢性運動ニューロパシー	症状がない ; 臨床所見または検査所見のみ	中等度の症状 ; 身の回り以外の日常生活動作の制限	高度の症状 ; 身の回りの日常生活動作の制限	生命を脅かす ; 緊急処置を要する	死亡

CTCAE v5.0

	Grade 1	Grade 2	Grade 3	Grade 4	Grade 5
AST増加	①ヘースラインが基準範囲内の場合: 30~90 U/L ②ヘースラインが異常値の場合: ヘースラインの1.5~3倍	①ヘースラインが基準範囲内の場合: 90~150 U/L ②ヘースラインが異常値の場合: ヘースラインの3~5倍	①ヘースラインが基準範囲内の場合: 150~600 U/L ②ヘースラインが異常値の場合: ヘースラインの5~20倍	①ヘースラインが基準範囲内の場合: 600 U/L以上 ②ヘースラインが異常値の場合: ヘースラインの20倍以上	-
ALT増加	①ヘースラインが基準範囲内の場合: 42~126 U/L ②ヘースラインが異常値の場合: ヘースラインの1.5~3倍	①ヘースラインが基準範囲内の場合: 126~210 U/L ②ヘースラインが異常値の場合: ヘースラインの3~5倍	①ヘースラインが基準範囲内の場合: 210~840 U/L ②ヘースラインが異常値の場合: ヘースラインの5~20倍	①ヘースラインが基準範囲内の場合: 840 U/L以上 ②ヘースラインが異常値の場合: ヘースラインの20倍	-
ALP増加	①ヘースラインが基準範囲内の場合: 322~805 U/L ②ヘースラインが異常値の場合: ヘースラインの2~2.5倍	①ヘースラインが基準範囲内の場合: 805~1610 U/L ②ヘースラインが異常値の場合: ヘースラインの2.5~5倍	①ヘースラインが基準範囲内の場合: 1610~6440 U/L ②ヘースラインが異常値の場合: ヘースラインの5~20倍	①ヘースラインが基準範囲内の場合: 6440 U/L ②ヘースラインが異常値の場合: ヘースラインの20倍	-
Bil増加 (T-Bil)	①ヘースラインが基準範囲内の場合: 1.5~2.25 mg/dL ②ヘースラインが異常値の場合: ヘースラインの1~1.5倍	①ヘースラインが基準範囲内の場合: 2.25~4.5 mg/dL ②ヘースラインが異常値の場合: ヘースラインの1.5~3倍	①ヘースラインが基準範囲内の場合: 4.5~15 mg/dL ②ヘースラインが異常値の場合: ヘースラインの3~10倍	①ヘースラインが基準範囲内の場合: 15 mg/dL以上 ②ヘースラインが異常値の場合: ヘースラインの10倍以上	-
Scr増加	1.07~1.605 mg/dL	1.605~3.21 mg/dL	3.21~6.42 mg/dL	6.42 mg/dL以上	-
低ALB血症	3~4g/dL	2~3g/dL	2 g/dL未満	生命を脅かす ;緊急処置を要する	死亡
アレルギー反応	全身的治療を要さない	内服治療を要する	気管支痙攣; 続発症により入院を要する ; 静脈内投与による治療を要する	生命を脅かす ;緊急処置を要する	死亡
関節痛	軽度の疼痛	中等度の疼痛 ; 身の回り以外の日常生活動作の制限	高度の疼痛 ; 身の回りの日常生活動作の制限	-	-
筋肉痛	軽度の疼痛	中等度の疼痛 ; 身の回り以外の日常生活動作の制限	高度の疼痛 ; 身の回りの日常生活動作の制限	-	-
異常感覚	軽度の感覚変化	中等度の感覚変化 ; 身の回り以外の日常生活動作の制限	高度の感覚変化 ; 身の回りの日常生活動作の制限	-	-
味覚異常	食生活の変化を伴わない味覚変化	食生活の変化を伴う味覚変化(例: 経口サプリメント) ; 不快な味; 味の消失	-	-	-
高血圧 (成人の場合、小児・青年は別途有り)	収縮期血圧120~139mmHgまたは拡張期血圧80~89mmHg	ヘースラインが正常範囲の場合は収縮期血圧140~159mmHgまたは拡張期血圧90~99mmHg ; ヘースラインで行っていた内科的治療の変更を要する ; 再発性または持続性(≥24時間) ; 症状を伴う>20mmHg(拡張期血圧)の上昇または以前正常であった場合は>140/90mmHgへの上昇 ; 単剤の薬物治療を要する	収縮期血圧≥160mmHgまたは拡張期血圧≥100mmHg ; 内科的治療を要する ; 2種類以上の薬物治療又は以前よりも強い治療を要する	生命を脅かす(例: 悪性高血圧、一過性又は恒久的な神経障害、高血圧クレーゼ) ; 緊急処置を要する	死亡